令和七年度

賀茂真淵記念館（かものまぶち）

冬期講座

冬1講座　獅子ケ鼻公園と88体の石仏群　（1回）

講　師　浜松史蹟調査顕彰会専門委員　小杉　達 氏
開催日時　令和8年 1/17（土）13:30～15:30
会　場　賀茂真淵記念館　講座室
募集人数　40名　受講料　500円

磐田市の最北端にある獅子ケ鼻公園周辺に石仏群があります。これには古代に遡る歴史的、宗教的な過程があり、今でも住民の生活のなかに生きています。

冬2講座　浜松の谷々に降り立った民俗芸能の今 ～手付かずの芸能の魅力を語る～　（1回）

講　師　浜松史蹟調査顕彰会専門委員　柴田　宏祐 氏
開催日時　令和8年 1/24（土）13:30～15:30
会　場　賀茂真淵記念館　講座室
募集人数　40名　受講料　500円

合併して大きくなった浜松には多くの民俗芸能が深い信仰に支えられて今も粛々と行われています。「遠江のひよんどりとおくない」を中心に10年余の保存と継承の奮闘記です。これからのコミュニティづくりにも寄与できるヒントにもなろうかという思いを込めて熱く語ります。

冬3講座　国語問題の歴史 ～「かなづかい」を中心に～　（2回）

講　師　浜松史蹟調査顕彰会専門委員　小山　晴久 氏
開催日時　令和8年 ①2/14（土）②2/21（土）両日13:30～15:30
会　場　賀茂真淵記念館　講座室
募集人数　40名　受講料　1000円

「音韻」とは何か。なぜ変化するのか。そして、日本語の「音韻」の特質を考えるために「五十音図」について、その仕組みや歴史を考えたいと思います。また、「音韻」が歴史上どのように変化したか。そして、「かなづかい」の問題がなぜ起きたのか。さらに、江戸時代の国学者は、「かなづかい」についてどのように考えていたかを紹介します。

冬4講座　幕府の裁判史料で読み解く ～浜松塩町と村々の訴訟～　（1回）

講　師　浜松史蹟調査顕彰会専門委員　伊平　充宏 氏
開催日時　令和8年 2/28（土）13:30～15:30
会　場　賀茂真淵記念館　講座室
募集人数　40名　受講料　500円

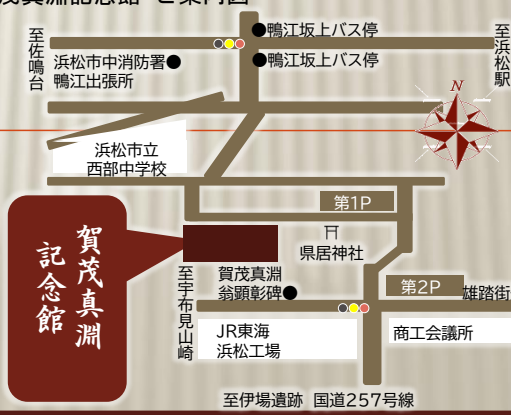
幕府評定所で裁判の実務を担った留役（とめやく）の記録をもとに、浜松塩町と宇布見・山崎・馬郡・二俣以北の村々の百姓たちが起こした訴訟を、それぞれの立場から追究します。「浜松塩専売」シリーズ第3弾！

◆**場所**/賀茂真淵記念館　講座室
◆**定員**/各講座40名
◆**受講料**/各講座の初回に集金します。
◆申　込/ ①ホームページの申し込み欄、②Eメール、③FAX 、④**1講座ごと1通の往復　ハガキ**、のいずれかの方法で、住所、氏名、電話番号、メールアドレス（お持ちの方）、参加希望講座名（例：「冬1和船による伊勢参り」）を記入してお申し込みください。
※**往復ハガキ以外は1回の申し込みで複数の講座の申し込みが可能です。なお、自然災害等により講座が延期・中止となることがありますのでご承知おきください。　※必ず連絡できる電話番号を記入してください。**

講座申込QRコード

◆申込締切
令和7年12月22日（月）
ハガキの場合、12月22日必着
（申し込み多数の場合抽選）
定員に満たない場合は、以降も随時受付します。ご連絡ください。

■賀茂真淵記念館　ご案内図



●バス／
鴨江佐鳴台線（3番ポール）鴨江坂上下車南へ徒歩7～8分。
※道は平坦です。
志都呂宇布見線（5番ポール）、商工会議所下車北へ徒歩5分。
※急坂道となっております。
●お車／
雄踏街道、商工会議所西信号を北へ坂上がる。（国道257号線森田町信号を北進）

浜松市立賀茂真淵記念館
一般社団法人　浜松史蹟調査顕彰会
〒432-8036 浜松市中央区東伊場一丁目22番2号
TEL(053)456-8050　FAX(053)569-4068
ホームページ　https://www.mabuchi-kinenkan.jp
e-メール　kamonomabuchikinenkan@na.commufa.jp
賀茂真淵記念館　検索
ふじのくに　文化財保存・活用連携団体